



宮城小通信

郡山市立宮城小学校

学校便り No.33

令和5年9月20日

文責：校長 伊藤 孝行

授業参観・引き渡し訓練に感謝いたします。

16日(土)に行いました授業参観及び引き渡し訓練には、保護者の皆様のご協力いただき無事に終了することができました。



<5・6年総合「因習和紙」>



<引き渡し訓練の様子>

近ごろは長年災害がなかった場所でも、大きな災害が発生しています。いざという時のために備えるということは大切なことです。

子どもの安全は、学校だけで守れるものではありません。保護者の皆様や地域の方との連携・協力が大切です。今後とも宜しくお願いいたします。

5・6年生コミュタン福島見学学習について。



5・6年生は、コミュタン福島に出かけ東日本大震災や原発事故、放射線について学びました。コミュタン福島は、東日本大震災後の福島県について、子どもたちが学ぶには適した施設です。

特に、放射線については「正しい知識」をもつ

ことが、将来の子どもたちのためになるものです。

1年生～4年生までの岩瀬牧場見学について。



<郡山駅改札口での子どもたちの様子>

岩瀬牧場で、様々なアクティビティを楽しむのも良い体験でしたが、路線バスや在来線(東北本線)を使って出かけることも、車社会の現在では貴重な体験のひとつでした。

9月16日・17日「秋螢」が開催されました。

宮城小の子どもたちも出品した「秋螢」が16日・17日に開催されました。



中田町の伝統行事ということで、多くの人が会場に集まり灯籠の美しさに感心していました。

海老根和紙は、今から350年前の江戸時代から続く伝統工芸品です。材料は楮(こうぞ)とトロロアオイです。海老根和紙は、最初は黄色味を帯びていますが、時が経つにつれて白くなることから「生き紙」と呼ばれています。